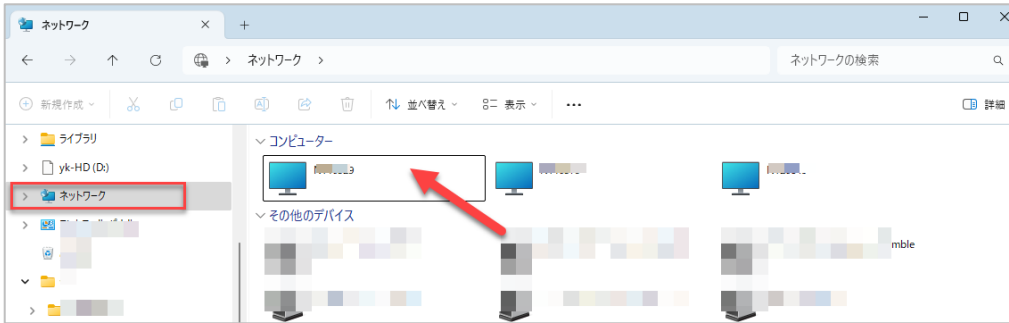


対処法1

共有ユーザーアカウント & パスワードを設定する方法

- ① エクスプローラ > ネットワークをクリックし、接続先PC/NASをクリックします。



- ② 共有サーバー、共有フォルダへアクセスする際、下図のようなネットワーク資格情報入力画面が表示されます。 ⇒表示されない場合は手順④へ

- ③ 接続先環境のユーザー名、パスワードを入力し、「資格情報を記憶する」にチェックを入れ「OK」をクリックすると接続が可能となります。

接続先 = 共有PC/NASの情報

※ユーザー名、パスワードは共有PC/NAS側で設定している情報のため弊社でお調べすることはできません。
お客様ご自身でお調べください。

④ネットワーク資格情報入力画面が出てこないor①②の設定後も接続ができない場合は、Windows資格情報画面より登録します。

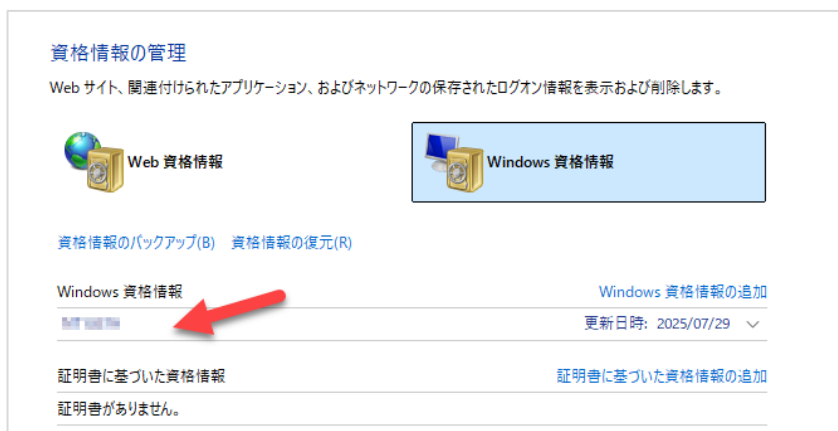
Windowsスタートメニューより「資格情報」と入力し、検索結果より「資格情報マネージャー」を起動します。



⑤接続先のインターネットおよびネットワークアドレス、ユーザー名、パスワードを入力し、「OK」をクリックします。



⑥Windows資格情報に追加されたら完了です。



接続先の情報を誤って登録した場合の訂正、削除、パスワード変更もWindows資格情報の画面より変更が可能です。

対処法2

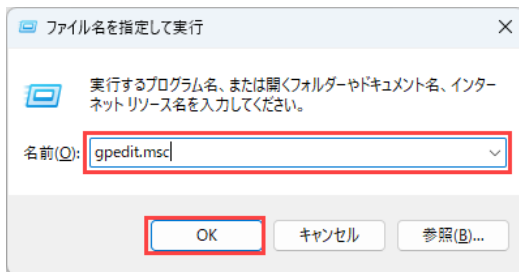
セキュリティ設定を以前の状態に戻す方法

対処法1の設定ができない場合の対処法です。

Winsows11で強化された設定を無効にするため、セキュリティリスクが高まる可能性があります。また次回のWinsowsアップデートの際に設定が戻るため、その都度設定が必要な対処法です。

①キーボードの[Windows]キーと[R]キーを同時に押します。

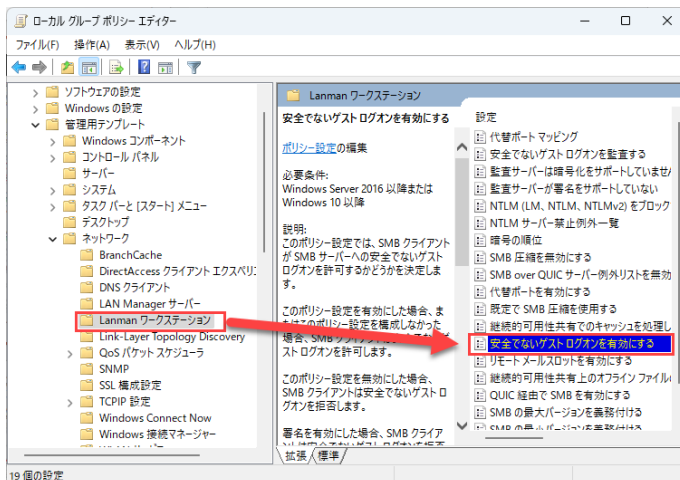
②ファイル名を指定して実行]画面より、[gpedit.msc]と入力し[OK]をクリックします。



③[ローカル グループポリシー エディター]画面、左ペインから以下の場所まで展開します。

[コンピューターの構成]>[管理用テンプレート]>[ネットワーク]
>[Lanmanワークステーション]

④右ペインから[安全でないゲスト ログオンを有効にする]をダブルクリックして開きます。

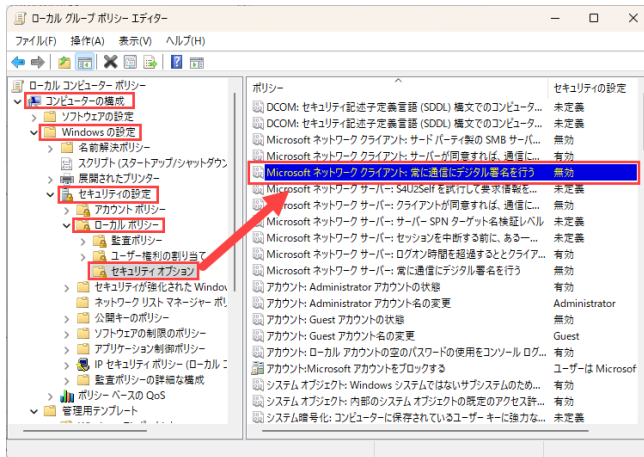


⑤ [有効]をチェックし、[OK]をクリックします

⑥続けて2か所目の設定変更を行います。左ペインから以下の場所まで展開します。

[コンピューターの構成]>[Windowsの設定]>[セキュリティの設定]>[ローカルポリシー]>[セキュリティオプション]

⑦右ペインから[Microsoft ネットワーク クライアント：常に通信にデジタル署名を行う]をダブルクリックして開きます。



⑧ [無効]をチェックし、[OK]をクリックします。

※すでに[無効]になっている場合は変更の必要はありません。[キャンセル]をクリックします。



⑨ PCの再起動を行い、共有に接続可能になっているか確認します。

⑩接続が出来ない場合、サーバー側で従来の接続情報が残っている可能性があります。時間をおいて再度接続を試すか、サーバーの再起動の操作をご検討ください。